

パターン認識演習レポートについて

レポートについてです。

ルールを守らないレポートは一律0点とします。

レポートの形式

レポートは PDF形式 にしてNUCT上で提出してください。

なお、PDFのサイズは最大3MBとしますので、図などを張り付ける際は配慮してください。

LaTeX(やWordなど)で書いてください(その後、PDFに変換する)。その際、図・表の使用や文書の構造化などを行い、見やすく・読みやすく書いてください。

レポート内に書くべきことは、

- 学籍番号
- 名前
- E-mailアドレス
- 課題タイトル (「認識プログラムの作成」等)
- 課題の内容 (「プログラムの概要」等)
- プログラムの解説, プログラムの処理で工夫をした点など
- 解答
- 考察
- 参考文献

です。参考文献を引いた場合は、必ず参考文献を書いてください。

でも、Cの本とかは書かなくてもいいです。

また、プログラムは必要なファイルをzipまたはtar.gz等で圧縮してアップロードしてください。

レポートの内容について

この演習はパターン認識に関する演習です。プログラミングの演習ではありません。

従って、レポートに書く結果・考察はパターン認識の結果、およびそれに対する考察を書いてください。

プログラムの結果とパターン認識の結果は別物です。

プログラムの出力結果だけレポートに載せるのはやめてください。

パターン認識の問題として答えを書いて、考察をしてください。

典型的な駄目レポートの例

以下のように出力された。

```
$ ./a.out
23 43 22 1
よって、プログラムはうまく動いている。
```

↑うまく動いているかどうか判断できない。

↑↑そもそもプログラムがうまく動いているからなんだ？

修正した例
Yasutomo KAWANISHI

5.3 結果

–必要ならばプログラムの説明–

以下のように出力された。

```
$ ./a.out
```

```
23 43 22 1
```

出力結果は、左から○○, △△, □□, ☆☆を表している。

したがって、この結果から○○は××であることが示された。

これは、〜〜〜ということの意味する。

5.4 考察

–以下考察を述べる–

重要ポイント

レポートを書く上で特に重要視する点は、

- 課題が終了しているか
- 正しく回答しているか
- 課題に対する考察が充分か
- 課題を十分理解しているか

です。

提出期限のこと

提出期限日の演習中に集めます。

演習終了と同時にレポート受付を終了します。

つまり、提出期限日の**12:00**が提出期限となります。

なので、提出期限日の演習中にレポートを書くのは割と危険です。

なお、レポートが提出期限に遅れた場合得点がつかない場合があります。

戻る